

まちの未来予想図を描く

を実施しました！

平成29年11月20日（月）に西川アゴラにて、「県庁通りまちづくりワークショップ」を実施しました。県庁通りの利用者（地域の子育て世代）や、沿道事業者、交通事業者、まちづくり関係団体（NPO）、大学関係者、行政等、計14名のご参加いただきました。



◆今回のワークショップのねらい

魅力と賑わいのある中心市街地をめざし、県庁通りを対象に、道路空間の再整備を計画しているところではありますが、継続的な魅力と賑わいを創出するためには、将来像をみなさんと共有し、整備した空間を「誰が」「どのように」活用していくか等を検討することが不可欠です。

県庁通り界隈をどのような“まち”にするのか。今回のワークショップでは、今後目指すべき県庁通りの将来像を考えるために、まずは自由な発想で各々の「まちの未来予想図」を描いてもらいました。

◆ワークショップの進め方

- ① 事前に（ワークショップ参加者以外からも）集めた「シーンライティング」の紹介。
- ② 書かれている内容を読み解き、道路の再整備やまちづくりに望まれている要素を抽出。
- ③ ワークショップ参加者で実際にシーンを思い浮かべ、カードに書いていく。
- ④ 上記のシーンを踏まえて、県庁通りの地図を見ながら具体的に機能を書き込んでいき「未来予想図」を描く。
- ⑤ 出来上がった「未来予想図」の発表・意見交換。

シーンライティングとは

県庁通りの近未来を想像し、そこで年齢や職業など自由に設定した人物の、まちなかの行動を物語的に作文します。

まちづくりの専門知識や図面を描く技術がなくても、シーンライティングを行うことで、作者の「まちへの想い」を読み取ることができます。

◆ワークショップの結果

事前に集めた「シーンライティング」より

- 広場や歩道の一部に芝生があり、子どもが遊んでいるシーン
- ワインやビールを屋外空間でも気軽に飲んでいるシーン
- 初めてのデートの場として県庁通りを選んでいるシーン
- 若い母親と子供が買い物をしているシーン

などなど…。様々なシーンを描いた作文が集まりました。上記のシーンだけでも「子供」「屋外の空間」「おしゃれ」等色々なキーワードが読み取れます。

ワークショップで挙げたシーン

- まちなかに農園がある。アートスペースがある。
- 待ち合わせができる場所や情報発信のサテライトがある。人が集まれる。
- 季節を感じられる木がある。
- 横断歩道がなくても安全に歩ける。
- ちょっとした時間つぶしに立ち寄れる。本がありゆっくりとした時間が過ごせる

などなど…。読み取れるキーワードとしては、「他にはないテーマ性」や「まちのシンボル」「緑の空間」「人優先」「気軽に立ち寄れる」など。

今回のワークショップで、県庁通りに求められている様々な要素が見えてきました。今後のワークショップでは、今回の意見も踏まえ、さらに具体的に“まちづくり”を検討していく予定です！

◆県庁通りでの取り組み



岡山市では、まちなかの魅力と賑わいづくりを目指し、歩いて楽しい・歩きたくなる歩行者優先の道路空間づくりを進めており、県庁通りにおいて回遊性向上のための社会実験をこれまで行ってきました。

今後もワークショップ等を重ね、みなさんと一緒に県庁通り界隈の魅力と賑わいづくりを進めていきます。



◆お問い合わせ先

岡山市都市整備局庭園都市推進課
TEL:086-803-1393 FAX:086-803-1740

県庁通りでの取り組みについては岡山市のHPでもご覧いただけます！

http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien_00071.html